

塩治コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumoshimane.jp

No.212 [2024年3月21日発行]

塩治地区の世帯数と人口 令和6年2月末現在	
世帯数	7,320世帯
人口	15,471人
(男)	7,529人
(女)	7,942人



令和5年度をふりかえって ～そして令和6年度へ～

塩治自治協会
副会長 永岡博之



3年以上私たちが苦しめてきた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行し、飲食を伴う忘年会や新年会などが行われるようになってきたのは、喜ばしいことです。しかし、塩治の二大イベントである「ふれあいまつり」「体育大会」がまだ再開されておられません。令和6年度には再開しようと関係者の話し合いが行われています。「ふれあいまつり」は8月3日に規模を縮小して実施することが決まりました。「体育大会」も「継続は力なり」が発揮できず、不安を感じながら、どのようにしたら実施できるか、開催時期、日程、種目などを検討しておられます。二大イベントの復

活で地域の人々のつながりが強まるよう、皆様には、積極的な参加をお願いいたします。

災害対策では、コロナ禍により小規模な講習会や研修会しかできませんでした。出雲市から各家庭に配付された防災ハザードマップの中に、非常持出品、備蓄品、避難の心得、情報の入手方法などが記載されています。是非読んでいただきたいと思います。現在、新たな取り組みとして、災害時に自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」の避難プラン作成を進めています。このプランには親族等緊急連絡先、避難サポーター、避難先などが記載されています。皆様にも親族、知人友人、近所の方々と助け合う「共助」の力を強くしていただくようお願いいたします。



この一年の振り返り

センター長 加茂慎二

現在、塩治コミュニティセンターには、青少年部・女性部・シルバード・まちづくり部・ボランティア部の5つの事業部があります。

昨年の5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行されました。このこともあり本年度の事業は、できることをできる形で無理のないところで実施することを確認してスタートしました。途中、子ども達に広がったインフルエンザや食糧することの心配により中止にした事業もありましたが、計画されたほとんどの事業を実施することができました。

そして、コミュニティセンターの事業として、本年度も教育実習を受け入れました。出雲医療看護専門学校の学生の皆さんが地域の皆さんと交流されました。来年度は、新たに島根大学医学部看護学科の3年生の皆さんの教育実習も受け入れることにしています。

また、貸館についてもコロナ前の状況に戻ってきました。土・日も含めてすべての部屋を貸し出しする日が増えてきています。これからいろいろな面でコミュニティセンターを活用してください。

この一年は、事業に参加された皆様から「よかった」「楽しかった」「また参加したい」などの感想をたくさんいただきました。これらの温かい言葉は、これからの実践の励みになります。事業を企画運営していただいた事業部の役員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。事業に関わっていただきましたすべての皆様に深く感謝いたします。



こんな事業を行いました！ - 自主企画報告 -

多くの皆様にご参加いただき、
ありがとうございました！

暮らしに花を「お正月花アレンジ」

女性部

12月26日(火)

この企画を毎年楽しみにしてくださっている方、初めて参加する方と、スタッフの計22名で金山シンギ先生を講師にお迎え、お正月花のアレンジフラワー教室を開催しました。6種類の花材（サンゴミズキ、タマシダ、葉ボタン、千日紅、ユーカリポラス、ミモザアカシア）を使い、先生の説明を聞きながらスタッフのサポートを受け、斬新で素敵なアレンジができました。参加者からは「初春らしい華やかな出来栄えに大満足」「とても楽しくお正月の準備ができました」と好評の会でした。



和菓子作り体験 女性部

2月20日(火)

講師に明治5年創業の宿彌餅本舗「坂根屋」の坂根壮一郎さんを講師にお迎え、参加者・スタッフ合わせて20名で和菓子の作り方を学びました。説明を受けながら色とりどりの練りきりあんこを手で丸め、三角ペラと手を使い椿と水仙の花の形に模様を入れ、春らしいかわいい和菓子2個を完成させました。講師先生には、和菓子にまつわるお話や、小豆やもち米、砂糖に国産・地元産のこだわり材料を使っている話をいただき、参加者からの素朴な質問にも答えていただきました。有意義な時間が持てました。



豆腐作り講習会

シルバー部

12月21日(木)・3月1日(金)

地区内で栽培された大豆を使い、大人気の豆腐作り講習会は2回開催し総勢32人の定員いっぱいの参加者がありました。

4グループに分かれ、みんなで手順を確認しながら作業を進めていきました。豆腐が固まるまでの時間を使い、講師より大豆を使った手作り食品の話や聞き、自然食品への関心が高まりました。出来あがった豆腐は、グループ毎にきめの細かさや硬さ、厚さに違いはありましたが、大豆の良い香りのする美味しい豆腐に仕上がりました。



味噌作り講習会

シルバー部

1月17日(水)

豆腐作りと同じ生産者の大豆を使って、参加者12名で味噌作り講習会を開催しました。

茹でた大豆、大豆の倍量の麴と塩をよく混ぜ合わせ味噌くり機で潰し、持ち帰り用容器に約2.5kgの味噌を隙間なく詰め込み2倍味噌の仕込みは完了です。約10か月熟成させ美味しい手前味噌が出来あがることでしょう。終わりに講師から大豆を使った手作り納豆レシピの紹介もあり、「味噌と納豆の作り方を教わって良かった」と参加者から嬉しい声を聞くことができました。



EMぼかし作り

まちづくり部

2月21日(水)

8名が参加し、2グループに分かれてEMぼかしと発酵液を交互に作りしました。

EMぼかしは、生ごみを減らすなどの環境づくりに役立ち、SDGsにもつながります。材料を手で混ぜ合わせながら、参加者同士コミュニケーションを取り、手際よく作業を進めていきました。ぼかしについての質問や、これまでの活用方法についての体験談に、参加者の皆さんは熱心に耳を傾け、終始和気あいあいとした雰囲気の中、地域の交流にもつながる催しとなりました。



サタデースクール閉校式

青少年部

2月24日(土)

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上（5類）に位置付けられ、青少年部の主軸事業である「サタデースクール」は今年度、第22回目となるスクールを開校することができました。

10か月間の受講期間で児童たちが休まず頑張れたことは、事業に理解いただきました保護者の皆様のおかげであり、何より子どもたち自らスクールに頑張っている気持ちを本当に嬉しく思いました。



2月24日に練習成果を発表する閉校式を行いました。これは子どもたちの成長を見る場でもあり、ご指導いただいた講師の皆さまに対する感謝の場でもあります。発表会では講師の皆さまの指導をもって保護者の方も参加された楽しい閉校式となりました。地域の皆さまには是非、子供たちの頑張っている姿を見ていただくことで、「地域の子」として応援し、愛情をもって育ててあげて欲しいと願います。

12月7日(木)

塩冶地区災害対策委員会研修会

講師：出雲市防災安全課 加藤 圭 係長

塩冶地区災害対策委員会研修会が開催されました。令和3年と5年に起きた水害の被害状況や避難の様子、南海トラフ地震で想定される震度などの話があり、今後起こりうる災害に備え、次のことが重要と説明されました。

①知る…ハザードマップを活用し、自宅や学校、職場周辺の災害リスクを知ること

②備える…非常持出品・備蓄品の準備

③行動する…防災情報を確認し、危険を感じたら早めに避難すること

また、〔自助〕と〔共助〕による地域の防災力の必要性について述べられました。いざという時には「家族や近隣住民の声がけが多く命を救う」と、改めて地域のつながりの大切さを感じた研修会でした。



12月10日(日)

塩冶地区・島根大学医学部連絡協議会健康講座

「みんなで延ばそう健康寿命

～肝臓内科医としての取り組み～」

島根大学医学部附属病院 肝臓内科の飛田博史先生をおむかえし、健康講座を開催しました。さまざまな健康問題の中から、特に脂肪肝や、肝臓と飲酒についてお話ししていただきました。また、講演の途中、座ったままでできるストレッチや肝炎予防の運動も取り入れた参加型の講演会でした。

参加者からは「身近な先生のお話が聞けて良かった。」

「肝臓のお話は、わが身として大変興味深かった。」「毎日飲酒をしていたので気を付けようと思った。」などの感想が寄せられました。



塩冶地区 健康づくり活動の紹介

健康づくり推進員の紹介



文化祭健康コーナーの様子



健康講演会の様子

塩冶地区は出雲市から委嘱を受けた3名の健康づくり推進員(深江とよ子さん、神門清美さん、福岡清さん)が、塩冶コミュニティセンターや塩冶地区・島根大学医学部連絡協議会、地区担当の坂原保健師と共に、地区の健康課題から健康づくりの目標を考え、健康づくりに関する活動や健康情報を広める取組を実施しています！

健康づくり推進員からのお知らせ：一緒に健康目標に取り組みましょう！

令和5年度の塩冶地区健康目標：①健康診断、がん検診を受けましょう。

②運動習慣を身につけましょう。

【定期的に健診・がん検診を受けて健康状態をチェックしましょう！】

二次元コードから出雲市のがん検診情報へアクセスできます。→

【ちょっと意識することから健康づくりを始めてみましょう！】



からだを動かす

- 職場で
エレベーターより階段を使う
自転車通勤してみる
- 家庭で
買い物に行ったときは遠くに車を止めて歩く
家事をしながらストレッチをする

食事のとき

- 普段の食事で
しょうゆは「かける」より「つける」
野菜を一皿増やす
- コンビニや外食で
野菜が多めのものを選んでみる
「大盛り」より「普通盛り」

今号の『えんや物語』

かつて綿の栽培が盛んだった出雲地方では、明治以前より出産祝いとして、木綿地を紺屋で詠えて贈る慣習がありました。産湯の時に使われる湯揚げや赤ちゃんに必要な襦袢（おむつ）といった祝いの品々。縁起物の文様が筒描という技法で施された藍染の布には、どのような願いが込められていたのでしょうか。

今号では、「鶴亀の湯揚げ―誕生の祝い」を掲載します。変わりゆく時代と変わらない親心がうかがえます。

えんや物語

第 20 号

平成 16 年 3 月発行

塩治コミュニティセンター

文化 部

題字 万代順子氏

鶴亀の湯揚げ―誕生の祝い

赤ちゃんの誕生は、家族にとって大きなよろこびです。産月が近づくと、かねて準備していた木綿地を紺屋に出し、赤ちゃんの湯揚げに染めてもらいました。

絵柄は「鶴亀」「松竹梅」「高砂」などのめでたい模様で、ほとんど筒描という方法で染められています。筒描とは、筒紙から糊をしぼり出し木綿地に絵つけをしたものです。布地が乾いてから藍で染め、糊を洗い流すと紺地に白



湯揚げ 筒描（上端西染）
横 75cm 縦 約 1m

くあざやかな絵柄が浮かびあがります。また、湯揚げの上端（三角形の部分）は茜で赤く染め分けられています。赤ちゃんを産湯につけながら茜染めのところで顔や口もとを拭いてやる習慣があり、目をする拭くとも眼病の予防になりました。俗信といえはそれまでですが、健康に育ってほしいという願いが込められていたのです。

その他、赤ちゃんに必要なものに襦袢があります。普段は白い布を使っていたましたが、やがて筒描の祝いものとしての襦袢が作られるようになりました。これは実用品というより縁起もの（？）というべきでしょうか。絵柄はどれも面白く、「鶴」「亀」「海老」「鰻」「瓢箪から駒」「波千鳥」など多種多様です。「海老」は腰が曲がるまでの長命、「鰻」は福寿をつなぎ止めるなど、いずれも健康長寿、幸福、繁栄を祈願したものとも考えられます。

筒描の湯揚げや襦袢は誕生の祝いとしてこの地方独特のもので、里の親から贈られることが多かったようです。盛んに染められたのは大正ころまでで、昭和になるとタオル地の普及や生活様式の変化もありその姿を消しました。子や孫が丈夫に育ってほしいと願う親心はいつの時代も同じです。

（文化部 狩野武志）



襦袢 筒描 紺地白抜 海老と鰻

ご寄付お礼

◆篤志寄付 塩治自治協会へ

加藤泰子様（中天神）金 10万5,783円

加藤様は、民間会社の内職募集に応募され、得意な裁縫に取り組まれました。1年間のすべての報酬を貯えられ、この度、塩治地区の健康づくりなどに役立ててほしいという思いでご寄付をされました。ありがとうございました。

◆香典返し 塩治自治協会へ

万代和好様〔故・澄子様〕（揚）

ご芳志ありがとうございました。

退任のごあいさつ

センター長 加 茂 慎 二

この3月31日をもって退任することとなりました。センター長在任の5年間、地域の皆様には格別のご厚情とご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

これからの塩治地区の更なる発展、そして、地域の皆様には、ご健康で幸多き日々となりますことを心からお祈りいたします。

矢 田 幸 憲

自治協会の雇用で、仕事の内容は広報の配達・コミセン敷地内の環境整備等を担当させてもらいました。長きにわたり働かせていただき、感謝を申し上げます。今後は地区のために頑張りたいと思っています。ありがとうございました。

お知らせ

第31回 塩治ふれあいまつりの開催が決まりました。開催日は8月3日(土)です。

令和6年度「広報いずも」等配達予定日

4月25日(木)・26日(金)
5月22日(水)・23日(木)
6月26日(水)・27日(木)
7月24日(水)・25日(木)

8月21日(水)・22日(木)
9月25日(水)・26日(木)
10月23日(水)・24日(木)
11月20日(水)・21日(木)

12月25日(水)・26日(木)
1月22日(水)・23日(木)
2月26日(水)・27日(木)
3月26日(水)・27日(木)

○気象警報の発令時または、発令される見込みがある場合は、配達日程を変更させていただきます。ご承知おきください。